

東アジアサンゴ礁保全国際シンポジウム 2008（仮称） 企画案

○目的

国際サンゴ礁年における石西礁湖自然再生事業の一環として、東アジア（北東アジア・東南アジア）周辺諸国のサンゴ礁に関連する専門家を招いてシンポジウムを開催し、石西礁湖自然再生に有益な情報を得るとともに、今後の関係強化・情報共有を進めていく。

○コンセプト

案 1：「サンゴ礁保全と地域経済との関わり」

各国でのサンゴ礁保全の取り組みと経済活動（漁業、農業、観光業等）の事例を紹介してもらい、それぞれの問題点・課題を議論する。

案 2：「東アジア海域全体から捉える石西礁湖の生物多様性とその保全対策」

各国でのサンゴ礁保全の取り組みと特に生物多様性についての現状を紹介してもらい、黒潮流域として捉えた国際的な保全の取り組みや調査研究・情報共有の必要性などを議論する。

例）サンゴ幼生やオニヒトデ幼生の分散様式や遺伝的解明、白化・病気のモニタリング体制・対策検討、サンゴ礁保全の連携・情報ネットワークづくりなど。

案 3：「サンゴ礁保全における海洋保護区設置について」

各国での海洋保護区設置の取り組みと、その成果がサンゴ礁保全にどのように結びついているかを事例紹介してもらい、それぞれの問題点・課題を議論する。

○プログラムの流れ

各国代表の講演→パネルディスカッション の2部構成

○主な対象：

石西礁湖自然再生協議会の委員及び関係者とする。ただし、テーマに関心のある一般の方々にとっても敷居の高くないシンポジウムを心がける。

○参加を呼びかける国・地域（優先順位別）：

A：日本、台湾、フィリピン、インドネシア、中国

B：タイ、韓国、パラオ、グアム・サイパン、マレーシア、香港、ベトナム

C：シンガポール、ミクロネシア、カンボジア

○開催時期：

以下の関連行事の日程を考慮すると、8～10月が妥当と思われる。石西礁湖自然再生協議会の日程とも調整が必要。

・7月7日～11日：第11回 国際サンゴ礁シンポジウム（米国・フロリダ）

・11月22日～24日：日本サンゴ礁学会 第11回大会（日本・静岡）

○検討課題：

- ・同時通訳の手配
- ・各国専門家の旅費
- ・会場の確保